

平成20年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ラッキョウ灰色かび病（No.1）

平成21年2月26日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

2月上旬以降、平年に比べて気温の高い気象条件が続いており、灰色かび病の発生時期が早まることが予想されます。特に白色疫病が発生しているほ場では、今後、灰色かび病が多発する恐れがありますので、防除が遅れないよう注意してください。

2 情報の根拠

- (1) 鳥取地方気象台発表の気象速報によると、2月中旬の平均気温は東部、中・西部共にかなり高かった。
- (2) 2月25日現在、園芸試験場ほ場（北栄町西園）において、白色疫病の病斑上に多数の灰色かび病分生胞子の形成が認められている。
- (3) 本年は、県東部を中心に白色疫病が多発しており、今後、灰色かび病の発生が急増する恐れがある。
- (4) 向こう1か月の気象予報によると、今後も灰色かび病の発生に好適な気象条件が続くものと予想されている。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 発生時期が早まることが予想されるため、散布時期が遅れないよう薬剤防除を行う。
- (2) 薬剤は、表1を参考に、各薬剤を輪番散布する。
- (3) 降雨後には、枯れた葉上に多数の分生胞子を形成するので、降雨後の防除を徹底する。
- (4) 茎葉が過繁茂となったラッキョウは、株元に薬液がかかりにくい状態となっているので、丁寧に散布する。

表1 ラッキョウ灰色かび病に登録のある薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ロブール水和剤	1000倍	収穫30日前まで	3回以内
フロンサイド水和剤	2000倍	収穫14日前まで	5回以内
ダコニール1000	1000倍	収穫14日前まで	3回以内
カンタスドライフロアブル	1500倍	収穫前日まで	3回以内

平成21年2月26日現在の登録内容